

# 自己改革

～経過報告vol.3～

## JA自己改革に対する組合員調査にご協力をお願いします!

現在、JA鹿本が取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いしてより一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興やくらしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、全ての組合員の皆さまを対象とした調査を実施しております。

これまで紹介をしてきました自己改革の取り組みの経過について報告します。

### 部会員団結 部会の取り組みで所得増大

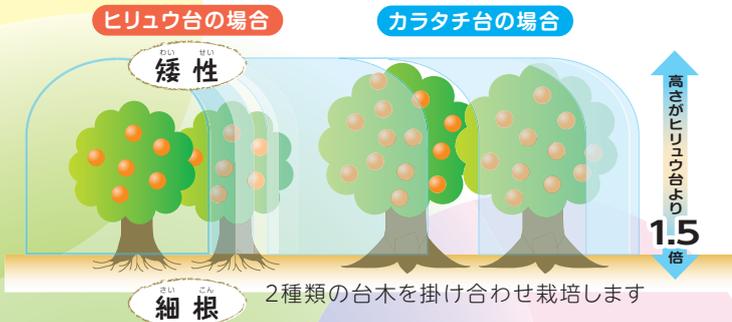
生産部会では、高品質生産に向けての栽培技術向上のため、各部会で様々な取り組みを行っています。

#### みかん部会デコポン専門部

#### ヒリュウ台木導入で産地にあった樹に

定植・新植の際、「ヒリュウ台木」使用を推進しています。「ヒリュウ台木」は細い根(細根)が多く糖度が高くなり酸が下がりやすい木になります。また樹全体が大きくなりすぎない(矮性)ところも特徴。管内で多い園芸ハウスでの栽培が可能です。

結果→合格率が上がる、高単価時期に出荷



#### セルリー部会

#### 営農アドバイザーを導入し 部会員全員で高品質生産

セルリー栽培ベテランの部会員2人を「営農アドバイザー」とし、部会員の圃場を月2回ずつ巡回し、生育を確認。被覆のタイミングや養水分の管理、防除の適切な時期、収穫時期の目安をアドバイスしています。

結果→適正サイズである2Lサイズの収量アップ、高品質生産



セルリーアドバイザー巡回



#### 苺部会

#### 県統一品種「ゆうべに」販売で所得増大

JA鹿本管内では3年前から「ゆうべに」栽培を始めました。「ゆうべに」は熊本県オリジナル品種で平成27年に誕生。大玉な実、鮮やかな紅色で他品種に比べ単価の高い「年内収量」が多いところが特徴です。

結果→収量増で所得がアップ



その他、各部会の圃場に営農指導課職員が出向いての現地指導や、天候や害虫等による問題が生じたら直ちに対策会議を開催、対応策を協議するとともに、各部会と協力し農業者の所得増大を目指しています。

**JA鹿本は各事業を通じ、  
創造的自己改革の実現に向けて取り組みます!**

### 変化する気候・ニーズに対応 栽培試験で新品種の導入を検討

農作物は近年増加する異常気象などにより、栽培方法が難しくなってきました。また、高齢化による労働力不足も大きな課題となっています。更に、消費者の要望に沿った生産・販売を行い農業者の所得増大にもつなげていくことが不可欠です。

JA鹿本の特産品種であるスイカ・アールスメロンに関しては、栽培シーズン後、生産者へアンケートを実施。アンケート結果に課題や問題があった場合、品種や栽培方法等を検討。品種改良を要するものに関しては一部の生産者に試験委託農家として圃場で実際に栽培してもらい試験を実施し、適正と判断された場合、JAや部会と協議し導入します。

#### 試験の流れ

- ① 栽培試験  
試験委託農家で試験栽培を実施
  - ② 拡大試験  
試験希望生産者を募り、導入面積の範囲内で試験栽培を実施
  - ③ 実証試験  
希望生産者を募り全員が試験栽培を実施
- 基準を導入  
新たな品種の導入、栽培管理方法の変更等があげられます  
※基準導入まで最低でも3年間試験を行います

### 消費地との密な情報交換 鹿本会の実施

主力農産物である春夏スイカに関しては、定期的に鹿本会(市場を交えた幹事会)を開催し、消費地と産地の状況報告を行い、情報を共有し、有利販売につなげることができるよう取り組んでいます。